

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																							
YIC京都ビューティ専門学校	平成21年12月2日	杉山 征人	〒600-8236 京都府京都市下京区油小路通塩小路下る西油小路町27 (電話) 075-371-4100																							
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																							
学校法人京都中央学院	平成19年1月22日	井本 浩二	〒600-8236 京都府京都市下京区油小路通塩小路下る西油小路町27 (電話) 075-371-4040																							
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																						
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル科	平成28年文部科学省 告示第18号	-																						
学科の目的	<p>専門知識・技術を教授するだけでなく、技術教育を通じての人間教育を行うことにより、良識ある社会人として必要な資質を養い、地域社会の発展に貢献できる心豊かな美容業界のスペシャリストの養成を目的とする(教育理念)。</p> <p>具体的には、即戦力ではなく、変わり続ける時代のなかで、専門的知識・専門的技術を十分持ちながら、常に変遷する社会に対し柔軟に対応するため、就職後も技術を研鑽し知識を蓄え、変わらずに人を癒すことのできる資質を備え、職業人としての使命感をしっかりと確立した人物を教えることを目的とする。</p> <p>真のビューティフルライフは、単なる外見の美しさだけではなく、知性・感性・人間性・誠実さ・自信など肉体・精神が健康であることから成り立つものと考え。本校が目指す美容分野のスペシャリストは美容師であることをベースにヘアメイクリスト、スタイリスト、メイクリスト、ネイリストといった髪・顔・装いのそれぞれの分野を深く極めたスペシャリストであるとともに、一人の人間をトータルにとらえ、総合的な美を演出できることを目指す。将来は、美容業界の指導的立場やリーダーとなることを期待している。</p>																									
認定年月日	平成26年3月31日																									
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	1,920時間	870時間	1,170時間	単位時間																					
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
80人	35人		3人	15人	18人																					
学期制度	■1学期: 4月1日～9月30日 ■2学期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席率80%以上、ペーパーテスト及び実技 成績: 秀(100-90) 優(89-80) 良(79-70) 可(69-60) 不可(0-59)																						
長期休み	■学年始: 4月1日～4月10日 ■夏季: 7月25日～8月31日 ■冬季: 12月23日～1月10日 ■学年末: 3月10日～3月31日		卒業・進級条件	出席率: 80%以上 成績: 60点以上(100点満点) 学費の完納																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 本人及び保護者への連絡を密にし、本人との面談や場合によっては保護者を含めた面談を行い、状況把握と指導を行う。都度指導記録を残す。		課外活動	■課外活動の種類 学園祭実行委員、京専各体育大会等への参加(バレーボール、卓球等) ボランティア活動(地域清掃、献血、留学生交流)、同好会活動、オープンキャンパスボランティアスタッフ ■サークル活動: 有																						
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成30年度卒業生) ウェディングサロン、ホテル、美容室等 ■就職指導内容 担任とキャリアサポート室スタッフを中心に、就職ガイダンス(自己分析、企業研究、プレゼンテーション)や個人面談、企業訪問、企業説明会を実施し、希望する企業への就職をバックアップする。 ■卒業生数: 9人 ■就職希望者数: 9人 ■就職者数: 9人 ■就職率: 100% ■卒業者に占める就職者の割合: 100% ■その他 ・進学者数: 人 (平成30年度卒業生に関する2019年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する令和1年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブライダル検定1級(ABC協会)</td> <td>③</td> <td>9人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>ドレススタイリスト検定</td> <td>③</td> <td>9人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>ブライダルフラワーコーディネーター検定</td> <td>③</td> <td>11人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>JMA3級</td> <td>③</td> <td>9人</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	ブライダル検定1級(ABC協会)	③	9人	8人	ドレススタイリスト検定	③	9人	9人	ブライダルフラワーコーディネーター検定	③	11人	11人	JMA3級	③	9人	9人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																							
ブライダル検定1級(ABC協会)	③	9人	8人																							
ドレススタイリスト検定	③	9人	9人																							
ブライダルフラワーコーディネーター検定	③	11人	11人																							
JMA3級	③	9人	9人																							
中途退学の現状	■中途退学者: 0名 ■中退率: 0% 平成30年4月1日時点において、在学者21名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者21名(平成31年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 QU(Questionnaire Utilities)により学生の学校生活での満足度と意欲クラス集団の状態を把握し、学生の不適応感について、問題行動として現れる前に発見し対策を立てている。出席不足や授業について行けない学生には補講や再試験等を行う。心の問題に対する個人々々への対応は、CTIパーソナリティ診断を利用し、担任、キャリアカウンセラー、臨床心理士が協同し、開発的、予防的、治療的カウンセリングが行える体制としている。																									
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待奨学金制度(一般常識、面接、書類審査によりSABランクの特待生を選抜)初年度学費¥よりS:学費20万円免除、A:10万円免除、B:5万円免除 ・ファミリーサポート制度(YICグループ校の在学者または卒業生に親、子、兄弟姉妹がいる者n太子初年度学費より5万円免除) ・ひとり暮らしサポート制度(通学困難者で下宿をせざるを得ない者に対し毎月5千円補助) ・就学支援制度(大学・短大・専門学校卒業&見込生、社会人経験3年以上であり、本校に入学を希望する者に対し、初年度学費より10万円を免除) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																									
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																									
当該学科のホームページURL	URL: <a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/</a>																									

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

・教育目的に沿った教育課程編成、教育水準とする。具体的には、業界・社会の要請を的確に把握し、職業に必要な実践的・専門的な能力を育成するため、企業と密接な連絡をとりつつ、本校が設定した卒業生の技術レベル、および人間力の醸成に注力する。

・講義・授業の計画(シラバス)は、本校の教育の基幹をなすものであり、本校の教育理念に沿って教育を行い地域社会、学生、保護者に対して、本校が社会に送り出す学生の質を規定(保障)するものであると位置づける。

必修科目	専門科目	・卒業生が必ず修得していなければならない科目 ・基本共通科目	座学・実技
	人間力		キャリア科目
選択必修科目		卒業生が修得していなければならない科目 専攻によりより深く学ぶことができる	学生自身が 自分の将来に 向けて選択
選択必修科目		卒業生が修得することが望ましい科目	

・教育課程科目は、毎年度毎に見直し、新設、廃止、改訂、改正を行う。これらの結果は、教育課程編成委員会における企業側の科目の指導・助言に基づき必要に応じて内容の修正、変更・追加を行う。

・入学時の基礎学力不足、および学力差の中で効率的・効果的な授業を行うため、必要に応じ、上記科目とは別に、入学前授業、基礎学力対策特別授業を行う。

・人間力、とくにコミュニケーション力、接客技術、その他職業人として必要な働く意欲を高めるための学習は、キャリア科目だけでなくあらゆる行事を含めた学校生活の中で醸成するものである。

・斯界のスペシャリストによる職業人講話、技術指導、ボランティア活動、インターンシップ、就業体験その他地域社会・業界との関連により学ぶことの意義と学習意欲の向上につなげる。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

・機関企業等からの提言・意見を反映し、職業実践的な教育を行うための、教育課程編成における諮問機関である。

・学校運営から独立した機関であり、理事会直結の諮問機関とする。

・臨時委員会は、各種検定資格の内容変更・新技術の導入・業界の新しい動向により教育課程編成を変更・追加が必要になった場合などに委員の要請により開催する。必要に応じ当該関係者の意見を聴取することもある。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成31年 4月 1日現在

名前	所属	任期	種別
玄田 宗七	滋賀県美容業生活衛生同業組合 理事長	平成31年4月1日～ 令和 3年3月31日	②
藤本 圭哉	株式会社ガモウ関西 代表取締役社長	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	③
浅野 健治	株式会社YAYOI BRAINS 代表取締役	平成31年4月1日～ 令和 3年3月31日	③
伊佐治 勇樹	株式会社ガネイシャ 代表取締役	平成31年4月1日～ 令和 3年3月31日	③
助川 春彦	資生堂プロフェッショナル株式会社 広域統括部 課長	平成31年4月1日～ 令和 3年3月31日	③
越前 多恵子	ワタベウェディング株式会社 アニバーサリーサロン 課長	平成31年4月1日～ 令和 3年3月31日	③
岡澤 ひとみ	株式会社WEDDGE 代表取締役	平成31年4月1日～ 令和 3年3月31日	③
杉山 征人	YIC京都ビューティ専門学校 校長		
細田 元一	YIC京都ビューティ専門学校 副校長		
田澤 初美	YIC京都ビューティ専門学校 教務課長		
山根 大助	YIC京都ビューティ専門学校 アメーバ経営推進室長		

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間開催数 2回

(開催日時)

第1回 平成30年5月28日 15:30～17:00

第2回 平成30年11月5日 13:30～15:00

第1回 令和1年6月3日 15:30～17:00

第2回 令和1年11月(予定)

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

教育活動:

・ブライダルの検定に関して、ABC検定以外の検定資格はどの様に考えているのか。

→ BIA検定をカリキュラムに導入済

・学生自身が自発的に運営できるイベントを企画してはどうか。

→ 9月に2年生、12月1年生の学生ショーを実施。クオリティが低い部分もあるが、全て学生が考えて実施。

・マツエクに関して、最近では60～70の年代の需要も増加している。基本的な知識・技術は身につけておいても良いのではないかと。

→ 授業時間数を検討中ではあるが、OCでマツエクの体験講座をサロン様に来てもらって実施。ウィッグに作業をしたりしている。今後どのくらいの時間でどの様な形で取り入れるかは検討中。

・講習会等の集客の為にSNSを利用した集客方法を学校で教えるのはどうか。

→ 研修まではできていないが、ネイルのサンプルチップの写真撮影の仕方等を1コマ程度教えて頂いた。実際に写真をとってSNSにアップ。他の学科はSNSの集客よりも利用方法の注意喚起を適宜実施。注意喚起を学生支援室と協力して実施

・読解力はお客様と接触するうえで非常に重要。言葉と言葉の行間をどれだけ読めるのかが重要である。

→ 入学が決まった高校生は入学前学習で基礎学力を測るものを実施。四則演算や漢字の読み方が多かったが、今年度から読解力が必要になる様な問題を出している。

学修成果:

・コンテストの出場種目の増加に関して、種目を特化するのも良いが幅を広げて学生の選択肢を増やしてみてもどうか。

→ 前年度から取り組み、徐々に結果が出てきている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

国家資格である美容師資格習得に必要な教育科目は美容師養成施設指定規則で定められており、資格取得のために全員が習得しなければならない基礎的・汎用的技術であり必須科目と位置付ける。一方、美容分野の職業に必要な実践的な能力は、業界の最新技術、現場の技術者による実践的技術、業界の動向等、企業等との密接な連携が必須であり、職業教育の質が確保できるとして、選択必須科目および選択科目と位置付ける。

後者の科目については、地域社会で美容業界を主導する20社以上のサロンをネットワークサロンとして組織し、連携することにより、美容業界が求める知識・技能・実務を的確に反映した教育体制としている。ネットワークサロン以外の美容業界のみならず、ビューティ分野の企業、理美容組合、メイク、ネイル、ブライダル、アロマ、マナー等専門分野の学協会とも連携する。

連携の効果をより確かなものとするため、本校と企業、学協会が相互に基本方針を確認し、連携の協定書を結ぶ。具体的な実習・演習計画、授業方法、学修成果の評価、講師(担当者)、等については連携の協定書締結時に確認する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

・企業等と協定書を締結し、連携授業としてカットⅡやカラー特論の授業や、校外(実務研修)でのインターンシップを行っている。学習内容、評価などは期初に当該企業等との打ち合わせにより決定したシラバスに沿って行っている。

・インターンシップは学校とインターン生受け入れ企業と個別に覚書を結び、学生のレポート⇒企業側のコメント⇒学校のコメント⇒評価⇒学生へのフィードバックにより学修成果を評価し、その結果を企業に報告することにより、科目の成果、改善・改革を図っている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ブライダルサロン	サロンの運営方法とお客様への接遇をトータルで学ぶ 新規接客や会場案内がスムーズに行う事が出来る。 テーマウェディングの考え方を理解し、提案する事が出来る。	株式会社WEDDGE

ネイル基礎	ネイル基礎知識・ネイルケア・カラーリング・検定アート 検定3級対策の実施 ベーシックなネイルの技能と知識の基礎を習得 JNECネイリスト技能検定3級受験	株式会社ガモウ関西
インターンシップ I II	ブライダル業界研究で学んでいることを参考にしインターンシップの依頼(電話・依頼文作成)、インターンシップに参加する前提として、インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう。インターンシップ終了後は、インターンシップを通じて得た知見や経験を体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する。交通費等の費用は原則自己負担である。	アイネスヴィラノツツエ宝ヶ池、(有)TAKE STEP、(株)ザ・セーリング、(株)ロイヤルホテル、(株)日比谷花壇、東急ホテル、スタイルズ、ワタベウエディング、扇屋、レック
ブライダルコスチューム	ウエディングに関する男性・女性のドレスコードを把握する。洋装・和装の幅広い知識の習得に努める座学。暗記も多くあるが対策を実施しシーンやお客様にふさわしい提案ができるようになる。	株式会社ベトアロマトティーク

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的にしていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

変わり続ける時代のなかで、専門的知識・専門的技術を持ち、社会に対し柔軟に対応できる人材を教え育てるためには、教員自身が常に研鑽を行い、美容分野の技術・知識を深化させるとともに指導力の向上、企業等との連携による研修等を通して時代に即応した実務能力(知識・技術・技能)の習得・向上に努めなければならない。

「学校法人京都中央学院教職員研修規程研修等」に基づき、校内外の研修については、年度計画に基づき学校が学習機会の提供等を行い、また自己申告により日程、費用等便宜を図る。特に授業力、担任力、等の指導力の向上についてはYICグループの人材育成計画に基づく教職員研修規程によりグループ内、校内外で計画研修を実施する。また、職業教育・キャリア教育財団、全国専門学校経営研究会、京都府各種学校・各種専門学校協会(京専各)等が実施する研修にも積極的に参加させる。

美容分野の時代に即した実務能力については、企業等が主催・実施する研修会への他、関係企業との連携や教育課程編成委員会等の意見を反映し、個別企業に教員研修を依頼、また資格取得などを奨励する。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ブライダル総研グッドウエディングアワード2018」(連携企業等:リクルート)

期間:2018年8月7日(火曜日) 対象:ブライダル系教員

内容:

- ・リクルート主催のウエディングプランナーコンテスト
- ・プレゼンを観覧
- ・他校教員と情報交換の実施

研修名:「新規ブライダル&ドレススタイリスト認定セミナー」

期間:平成30年8月7日(火)~8月9日(木) 対象:教員

内容:日本のブライダルとアメリカのブライダルについて

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:「キャリアサポーター養成講座」

期間:平成30年7月30日(月)~8月1日(水)3日間 対象:教職員

内容:

- ・キャリアとは何か、学生の現状について
- ・自己理解について、カウンセリング実習
- ・キャリアサポートの実践、仕事理解とキャリアガイダンス

研修名「京都学校教育相談研究大会」(連携企業等:京都府立学校教育相談研究会他)

期間:平成30年8月9日(木) 対象:教職員

内容:今の自分と向き合う ~こころと身体のリフレッシュ~

- ・講演:マインドフルネス、その実態とこれから ~教育現場への活かし方~  
科学と禅の共通点とは。人間の感情に体から始まる
- ・分科会:「怒り」の感情につきあう、アンガーマネジメント

研修名:教職員の資質向上の推進 実証講座「教育コーチング研修」(連携企業等:全国専門学校教育研究会)  
 期間:平成30年8月23日(木)~8月24日(金) 2日間 対象:教職員

内容:

- ・コーチングを実践できるまでの初歩的なトレーニング
- ・コーチングのポイント
- ・コーチングスキルを用いたアクティブラーニングでの活用法
- ・上記内容について、一人アクティブラーニング、ペアワーク、グループワークを実施

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ブライダル総研グッドウェディングアワード2019」(連携企業等:リクルート)

期間:2019年8月6日(火曜日) 対象:ブライダル系教員

内容:

- ・リクルート主催のウェディングプランナーコンテスト
- ・プレゼンを観覧
- ・他校教員と情報交換の実施

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「京都学校教育相談研究大会」(連携企業等:京都府立学校教育相談研究会他)

期間:2019年8月(未定) 対象:教職員

内容:未定

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」で示された企業等と具体的な連携の視点から検証した自己点検評価について、企業と学校関係者からなる「学校関係者委員会」の評価・助言・提言を受ける。学校評価委員会においては、本校が行う自己点検評価の結果と根拠を示し、とくに職業実践的な教育活動に適したものであるかなど、当該年度の重点項目を中心に意見等をまとめる。結果を反映した実行計画を作成し、次年度の重点項目を定め、学校教育・学校運営を行い、本校の概念である「地域社会の発展に貢献する、地域の皆さんのための教育機関」の実現に注力する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標
(2) 学校運営	7 管理運営 9 改革・改善
(3) 教育活動	2 教育の内容
(4) 学修成果	4 教育目標の達成度と教育効果
(5) 学生支援	5 学生支援
(6) 教育環境	3 教育の実施体制
(7) 学生の受入れ募集	5 学生支援
(8) 財務	8 財務
(9) 法令等の遵守	7 管理運営
(10) 社会貢献・地域貢献	6 社会的活動
(11) 国際交流	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校運営:

・美容室の現場ではe-learningをまだまだ活用できていないが、学校ではどのような状況か。  
 → リメディアル教育、グループウェアを用いたもの、理美容センターのものと取り入れている。ベースとなるものは導入しているが本格的な研修としては不十分。

・クレームの対応は機械化が進むほど発生しやすくなるが、どのようにして人と人との対処に落とし込んでいるのか。  
 → 対応フローを作成し、経営計画書に基づいた行動基準で対応している。

教育の内部質保証システム:

・教員の確保に対してネットワークサロンが具体的に機能して確保できているのか。  
 → 常勤の枠は充足している為、非常勤講師で現場から来て頂いている。

・美容業界で専門学校を探すと資料等で知る事が出来るが、外部に対する宣伝はどのようにしているのか。  
 → 高校生に直接打ち出す方法を重視している。主に高校生への宣伝媒体を利用したPRを行っている。

・学校の実習場を美容所として利用し、ネットワークサロンと提携してみてもどうか。現場としてはアシスタントから技術者になった際にお客様に入れない事が課題である。うまく連携できれば学校とサロンとの結びつきもより強固となる。  
→美容所に関しては以前から検討している。要件を満たせるのかまずは確認する。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成31年 4月 1日現在

名前	所属	任期	種別
玄田 宗七	滋賀県美容業生活衛生同業組合 理事長	平成31年4月1日～ 令和 3年3月31日	学会
藤本 圭哉	株式会社ガモウ関西 代表取締役社長	平成31年4月1日～ 令和 3年3月31日	企業
浅野 健治	株式会社YAYOI BRAINS 代表取締役	平成31年4月1日～ 令和 3年3月31日	企業
伊佐治 勇樹	株式会社ガネイシャ 代表取締役	平成31年4月1日～ 令和 3年3月31日	企業
助川 春彦	資生堂プロフェッショナル株式会社 広域統括部 課長	平成31年4月1日～ 令和 3年3月31日	企業
越前 多恵子	ワタベウエディング株式会社 アニバーサリーサロン 課長	平成31年4月1日～ 令和 3年3月31日	企業
岡澤 ひとみ	株式会社WEDDGE 代表取締役	平成31年4月1日～ 令和 3年3月31日	企業
福山 正樹	レーコ美容室株式会社	平成31年4月1日～ 令和 3年3月31日	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: <https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/>

公表時期: 2019年 6月 4日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の趣旨に則り、原則として、ガイドラインが推奨する内容(提供する情報の項目例)全てについて、ホームページ上にて情報提供する。教育活動、その他学校運営の状況、これらの結果は、企業、在学生、卒業生、保護者等関係者にホームページなどに公開・提供していることを、学校便り、オープンキャンパス、案内資料、企業説明会などで広く周知し、理解を得る。企業との連携による職業実践教育を行うためには、企業に対して本校の理念、教育活動の理解が前提であり、具体的な連携を計画する際の基本資料として提示・説明することで企業の協力が得られるものとする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科(コース)等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・就学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校の評価
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: <https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ブライダル科) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ブライダルコスチュームⅠ	衣装の歴史、ドレスコード、シルエットの名称とその似合う体型を学び、ドレスなどの扱い方を修得。	1前	30	1	○			○			○	○
○			ブライダルコスチュームⅡ	コスチューム検定の対策授業。主に衣装のTPO/素材の名称などを修得。	1後	30	1	○			○			○	○
○			ブライダル概論	現代の日本におけるブライダル事情の概要を知り、ブライダルとは何か?どんな意味・意義があるのか?そこに従事する人間としてのモラルなどを学ぶ。	1前	30	1	○			○			○	
○			ブライダル企業研究	婚礼会場はどの様なところがあるのか。そこではどのような仕事があるのか。関連業種は?などについて調べる。9月のインターシッププリテラシーも取り組んでいる。ブライダル業界をブレ・当日・新生活部分に分けてさまざまな角度から検討を深める。	1前	30	1	○			○			○	
○			BIA検定Ⅰ	BIA検定対策授業。ブライダルの定義(第1章)から、ブライダル業界(第2章)についてを学ぶ。	1前	30	1	○			○			○	
○			BIA検定Ⅱ	BIA検定対策授業。ブライダルの定義(第3章)から、ブライダル業界(第4章、第5章)についてを学ぶ。	1後	30	1	○			○			○	
○			BIA検定Ⅲ	BIA検定対策授業。テキスト第5章から第6章についてを学ぶ。	2前	30	1	○			○			○	
○			BIA検定Ⅳ	BIA検定対策授業。テキスト第1～第7章までの振り返りと毎回の模擬試験。	2後	30	1	○			○			○	
○			ABC検定Ⅰ	ABCブライダルプランナーテキストを使用しブライダル業界の基本的な仕事に必要な知識の習得。日本および海外のブライダルの基礎を網羅した学習内容。日本においては関連業種、海外においては宗教観の違いなども含め知識を深める。	1後	30	1	○			○			○	
○			ABC検定Ⅱ	1年時に学習したABCブライダルプランナーテキストを使用しブライダル業界の実務部分を学習する。実際の業務に求められる能力を高めアシスタントブライダルプランナーの資格を得る。また12～15回には実務実践として、各自がプランニングシートを作成しエレガント又はキュートのテーマでチャペルを演出する。15回には完成披露を行う。	2前	30	1	○			○			○	

○			イベント プロデュースⅠ	ブライダル業務全般を幅広く学び、特に校内で実施するリアルウェディングのカップルを募るためのSNS発信(ブライダル業界で一番重要な集客業務)を実際に行う。そしてリアルウェディングにつなげ、より実際に近い婚礼業務を経験し、身につける。	1 後	120	4					○	○						○	
○			イベント プロデュースⅡ	ブライダル企業様での研修と学内でのリアルウェディング	2 前	120	4					○	○						○	
○			レストラ ンサー サービス	ビジネスや日常生活におけるしきたりやマナーについて、その必要性、基本を学び、視覚教材(ビデオ、DVD、TV等)を利用し、それらのマナーが実際にどのように生かされているかを知り、シミュレーションや実務作業を通して単なる知識ではなく応用展開が可能な能力をつけられるように授業を進める。 ホテル様にご協力を頂き実習を行う。一般のお客様へのサービスも実施する実践的な授業。また最終回にはランチサービスを実行する。	2 前	30	1					○	△	○	○				△	
○			フラワー コーディネイトⅠ	多様化するニーズ。結婚式や披露宴をカラーやフラワーなどをコーディネートするセンスが問われます。演習に欠かせないフラワーアレンジメントの基本の実践と最新のテクニックを学びシーンに花のセレクトや個性の表現を磨きます。ほぼ毎回実習を行うため、各自和ばさみ・ハンドタオル・持ち帰り用袋など持参の事。	1 前	30	1					○	○						○	
○			ブライダル セレモニー実習	模擬挙式を行い、テーマの決定や装飾、進行、接客等、携わるすべての企画・運営を学生が行う事で、挙式について学ぶ。	1	30	1					○	○						○	
○			ブライダル プラン ニング実習	新規接客について学び、ロールプレイにて実践に向けた準備を行う。	1	30	1					○	○						○	
○			インター ンシ ップⅠ	ブライダル業界研究で学んでいることを参考にインターンシップの依頼(電話・依頼文作成)、インターンシップに参加する前提として、インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう。インターンシップ終了後は、インターンシップを通じて得た知見や経験を体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する。交通費等の費用は原則自己負担である。	1	60	2					○		○					○	○
○			インター ンシ ップⅡ	ブライダル業界研究で学んでいることを参考にインターンシップの依頼(電話・依頼文作成)、インターンシップに参加する前提として、インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう。インターンシップ終了後は、インターンシップを通じて得た知見や経験を体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する。交通費等の費用は原則自己負担である。	1	60	2					○		○					○	



○		ブライズ メイクヘア	即戦力として活用できる着付とブライダル業界実務	2 後	30	1				○	○							○	
○		着付け・作法	浴衣の着付けから始め留袖の着付けで練習をしていく。帯結び(お太鼓・飾り結び)が数種できるように実践的な授業。和装の名称を覚える	1 後	60	2				○	○							○	
○		メイクアップ 基礎	<座学>皮膚科学、顔の成り立ち～顔分析、ゴールデンプロポーションについて、色彩学、道具の名称～使いこなしなど <実技>クレンジング～ベースメイク作成、ポイントメイクの楽しさを知る	1 前	60	2				○	○							○	
○		ネイル基礎	ネイル基礎知識・ネイルケア・カラーリング・検定アート検定3級対策	2 後	90	3				○	○							○	○
○		ヘアアレンジ I	ウィッグ使用の実技中心となる。	1 前	30	1				○	○							○	
		○ ビジネス基礎学	国語、数学、社会をトータルで学ぶ。	1 前	30	1	○				○							○	
		○ 現代ホテル理論	ブライダルのホテル全体との関わりを理解し、関連部署や役割等を学ぶ。又ホテルでの接客対応、ゲストハウスとの違いについても学び、ホテルブライダルの魅力を知る。	1 後	30	1	○				○							○	○
		○ マナー プロトコール	国際的な基本マナーであるプロトコールなど、マナーに関する知識の幅を広げる。また、国際化社会においても普遍的に要求される、論理的に表現する力を養成する。各回演習を行う。	2 後	30	1	○				○							○	
		○ ビジネス電話 対応	ビジネス電話基礎6級の試験対策、ビジネス電話の常識を理解し、社会に出て恥ずかしくない電話対応を学ぶ。	2 前	30	1	○				○							○	
		○ ブライダル サロン	サロンの運営方法とお客様への接遇をトータルで学ぶ。	1 前	60	2	○				○							○	
		○ サロン 管理実習	ブライダルサロンの運営を実際に行い、広告を学ぶ。	2	60	2		○			○							○	
		○ キャリア デザイン	各自の就職活動が円滑に進むよう担当教員がアドバイスなどを適時行う。エントリーをした企業への履歴書の記入や自己アピールなど具体的に指導する。自分の目標を見失うことなく就職先企業を決めていく作業を行う。個人ワーク、グループワーク形式。小テストにて理解度確認。	2 前	30	1	○				○							○	
		○ メイクセラピー	花嫁様の披露宴での心理的なストレスを和らげるメイクセラピーの技術を身につける。	1 後	60	2				○	○							○	
		○ ブライダル アロマ	ブライダルに重要な場の空気・雰囲気香りを香から印象付ける。	2	30	1				○	○							○	

	○	ブライダル 映像基礎	ブライダルの映像について学び、お客様に説明できるレベルになる。	2	30	1	○		△	○			○
	○	イラスト・ デッサン	鉛筆の削り方・持ち方・描き方・構図などデッサンの基本を習得し、人の顔やスタイルなどスケッチ的なスタイル画へと発展させる。 イラストやデザインなど表現・提案するための基礎を学ぶ。	2 後	30	1	△		○	○			○
	○	フラワーコー ディネイトⅡ	多様化するニーズ。結婚式や披露宴をカラーやフラワーなどをコーディネートするセンスが問われます。1年時に学習したフラワーアレンジの技術をベースにあらにシーンや個性に合わせ提案できる最新のテクニックを学ぶ実践的授業。ほぼ毎回実習を行うため、各自和ばさみ・ハンドタオル・持ち帰り用袋など持参の事。	2 前	30	1			○	○			○
	○	ウェディング プランナー演 習	グッドアワードウェディングの視察準備、視察の実際	2	30	1			○	○			○
		合計		49科目				1,920時間					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
必須科目48単位（1,440時間）および 選択科目16単位（480時間）、計64単位 （1,920時間）の履及び学費の完納 履修方法：ペーパーテスト、レポート、実技テストによる評価	1 学年の学期区分	2期	
	1 学期の授業期間	15週	

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。